

再稼働中止を要望

反原発連絡会が県に

関西電力高浜原発3、4号機（高浜町）の再稼働を認めた大阪高裁決定を受け、県内八つの市民団体でつくる県反原発連絡会は二十九日、県に対し、関電に二基を再稼働しないよう指導することを申し入れた。

連絡会の十人が県庁を訪れ西川一誠知事宛ての要請書を県原子力安全対策課の

担当者へ手渡した。要請書では「福島原発事故の原因が究明されていない中どうして原発の安全性を担保できると言えるのか」と高裁決定を批判。事故時の住民避難計画の検証や実効性の担保がないなどと指摘し、再稼働反対を訴えている。

連絡会に加わる「原子力発電に反対する福井県民会議」代表委員の中島哲演さん(モ)は「県は決定を安易に追認せず、再稼働への工程を厳しくチェックする必要がある」と強調。担当者は「上司に伝えたい」と答えた。

連絡会は関西電力原子力事業本部(美浜町)も訪れ、再稼働しないよう求めた。

(平野誠也)



県の担当者(左)に要請書を手渡す中島哲演さん(右)＝県庁で